



掛下 哲郎 准教授が
情報処理学会 情報規格調査会の「国際規格開発賞」を受賞

【概要】

数理・情報部門の掛下 哲郎 准教授が、一般社団法人情報処理学会 情報規格調査会の「国際規格開発賞」を受賞しました。掛下准教授がコエディタ（Project Co-Editor）を務め、2024年5月に国際標準化機構（ISO）から発行された国際規格 ISO/IEC 24773-2:2024 への貢献が顕著と認められ、授与されたものです。

【本文】

数理・情報部門の掛下 哲郎 准教授が、一般社団法人情報処理学会 情報規格調査会の「国際規格開発賞」を受賞しました。掛下准教授がコエディタ（Project Co-Editor）を務めた国際規格 ISO/IEC 24773-2:2024 が2024年5月に国際標準化機構(ISO)から発行され、その貢献が顕著と認められたものです。

ISO/IEC 24773-2: 2024（Software and systems engineering — Certification of software and systems engineering professionals — Part 2: Guidance Regarding Description of Knowledge, Skills and Competencies Contained in Schemes）は、ソフトウェア技術者認証の比較フレームワークであった ISO/IEC 24773:2008 を適合性要求規格群として改訂する新たな ISO/IEC 24773 シリーズの中で、認証における知識、技術、能力の記述のガイドを提供するものです。2014年6月のシドニー会議で ISO/IEC 24773-1: General Requirements のプロジェクト提案が承認され、その後、ISO/IEC 24773-1: General Requirements, ISO/IEC 24773-3: Systems Engineering の、ISO/IEC 24773-4: Software Engineering の国際規格化を経て、2024年5月の規格制定に至りました。

掛下准教授は、2014年のプロジェクト提案当初からコエディタとして ISO/IEC 24773 シリーズの規格制定に取り組んでおり、ISO/IEC 24773-2 における改訂内容は掛下准教授および早稲田大学の鷲崎弘宜教授が提案した改訂事項がベースになっています。ISO/IEC 24773-2 の策定においても両氏の主導で各国の投票コメントの処理が行われ、ソフトウェア技術者認証に関する知識、スキル、コンピテンシー、その他の関連する概念が整理されました[1]。

さらに掛下准教授は、制定の経緯や国内の関連する資格制度との関係などの情報を整理して論文発表[2]するなど、当該規格の理解の増進および普及展開に大きく貢献しました。

このように、掛下准教授はプロジェクトを終始リードして内容の策定および投票コメント処理などを主導し、さらに普及展開に貢献しました。このような貢献が認められ、授与されたものです。

[1] ISO/IEC 24773-2: 2024 <https://www.iso.org/standard/78179.html>

[2] 掛下、鷲崎、「高度 IT 資格制度を対象とする国際規格 ISO/IEC 24773」、情報処理学会 デジタルプラクティス, Vol.10, pp.158-176 (2019). <http://id.nii.ac.jp/1001/00193629/>

国際規格開発賞

国立大学法人 佐賀大学

掛下 哲郎 殿

あなたがプロジェクトコエディタとして担当された

ISO/IEC 24773-2:2024

Software and systems engineering – Certification
of software and systems engineering professionals –
Part 2: Guidance regarding description of knowledge,
skills, and competencies contained in schemes

の発行に際しその成果が顕著であると認められました
よってここに賞状を贈呈いたします

2024年6月18日

一般社団法人 情報処理学会
情報規格調査会
委員長 河合 和哉

